

1. 全体集会のプログラム決定

3月4日(水)に北海道大学で開催される全体集会のプログラムが以下のように確定されました。パート1では、研究代表者の側からこの領域研究にかける意気込みを語ります。パート2は、我々がどのようなことを期待されているのかについて、我々にも馴染みの深い識者の意見を聞いて、考えてみる機会にしたいと思っています。第1回の全体集会ですので、ふるってご参加ください。なお、この全体集会は一般公開です。

新学術領域研究「ユーラシア地域大国の比較研究」第1回全体集会プログラム

日時：3月4日(水) 14:30～18:15

場所：百年記念会館大会議室

パート1 (14:30～15:15) 「研究の第1段階にあって：ねらい・手法・抱負」

報告者：田畑伸一郎(領域代表者, 北海道大学), 岩下明裕(計画研究第1班代表者, 北海道大学), 唐亮(計画研究第2班代表者, 法政大学), 上垣彰(計画研究第3班代表者, 西南学院大学), 宇山智彦(計画研究第4班代表者, 北海道大学), 山根聡(計画研究第5班代表者, 大阪大学), 望月哲男(計画研究第6班代表者, 北海道大学)

司会：長縄宣博(北海道大学)

パート2 (15:20～18:15) 「『ユーラシア地域大国の比較研究』に期待すること」

報告者：猪口孝(中央大学), 長崎暢子(龍谷大学), 沼野充義(東京大学)

コーディネーター：林忠行(北海道大学)

懇親会

18:30～20:30

場所：百年記念会館きやら亭

本新学術領域研究のメンバー（研究分担者、連携研究者、研究協力者を含む）の方で、この全体集會に参加を希望される方は、旅費が総括班から支給されますので、2月10日（火）までに事務局（rp@slav.hokudai.ac.jp）に旅程をお伝えください。航空券、ホテルの手配は、各自で行ってください。

なお、下に記しますように、3月3日の午後と4日の午前には、第4班・第5班・第6班合同の研究会が札幌市内で開かれます。また、3月5日、6日には、新学術領域研究に関連する催しとして、スラブ研究センターの国際シンポジウムが北海道大学キャンパスで開かれます。旅程の連絡の際には、これらの企画を含めてくださって結構です。

2. 新学術領域研究に係る公募研究の開始

本新学術領域研究に係る公募研究の募集が、1月20日～3月6日の期間で行われます。平成21～22年度の2年間の研究で、研究分担者を置くことはできません。単年度当たりの応募額は200万円を上限とし、採択目安件数は4件です。本領域研究の研究分担者は応募できませんが、お近くに関心を有する方がおられましたら、応募をお勧めください。詳しい公募要領は、間もなく文部科学省ウェブサイトに掲載されると思われま

3. 新学術領域プロジェクト研究員の募集締め切られる

メール等でお知らせしましたように、1月初めより新学術領域プロジェクト研究員の公募を行ってききましたが、1月20日に募集が締め切られました。2月のできるだけ早い時期に採用開始できるよう、現在、総括班を中心に選考を進めています。

4. 今後の予定

2月5日（木）～6日（金）：第1回スラブ・ユーラシア研究・東アジア会議（於北海道大学）。プログラムは <http://src-h.slav.hokudai.ac.jp/eng/20090205/20090205-e.html>

2月7日（土）～8日（日）：NIHU現代中国地域研究拠点連携プログラム第2回国際シンポジウム（於早稲田大学）。プログラムは http://www.china-waseda.jp/research/pdf/symposium_20090207_program.pdf

3月4日（水）：新学術領域研究第1回全体集會（於北海道大学）。プログラムは上掲。

3月5日（木）～6日（金）：スラブ研究センター国際シンポジウム（於北海道大学）。プログラムは <http://src-h.slav.hokudai.ac.jp/sympo/09march/2009march-e.html>

7月9日（木）～10日（金）：新学術領域研究国際シンポジウム（於北海道大学）。第3班を中心に企画。

7月11日（土）新学術領域研究第2回全体集会（於北海道大学）

12月12日（土）～13日（日）：新学術領域研究国際シンポジウム（於早稲田大学，予定）。第2班を中心に企画。

5. 各班の研究会情報

※本新学術領域研究のメンバーの方で、他の班の研究会に参加希望の方は、総括班から旅費が支給されますので、早めに事務局（rp@slav.hokudai.ac.jp）に旅程をお伝えください。

第1班（国際関係）

日時：1月31日（土）15：00～18：00

場所：KKRホテル札幌 札幌市中央区北4条西5丁目（011-231-6711）

内容：班員のみによる打ち合わせ

第2班（内政）

日時：3月4日（水）10：00～11：45

場所：北海道大学スラブ研究センター小会議室（文系共用棟2-2）

1) 政治エリートのデータベースについて（唐亮）

2) 来年度の研究活動に関する打ち合わせ

内容：班員のみによる打ち合わせ

第3班（経済）

日時：1月28日（水）14：00～17：00

場所：日本財団ビル（東京都港区）2階第8会議室

報告：

田畑伸一郎「新学術領域プロジェクト全体の概要、採択の経緯、今後の予定と留意点について」

堀井伸浩「中国のエネルギー政策」

金野雄五「グルジア戦争と金融危機後のロシア経済」

上垣彰「第3班の概要と今後の研究計画、特にデータベースについて」

※会場の関係上、他班のメンバーで参加希望の方は事前に上垣 uegaki@seiman-gu.ac.jp まで連絡のこと。

第5班（社会）

1月5日、大阪大学世界言語研究センター内の「国家の輪郭と越境」プロジェクト室で、研究分担者及び連携研究者7名による研究打ち合わせ会議が開催された。

冒頭参加者の自己紹介があり、その後、プロジェクト全体の説明と、5班の研究内容と今後の研究活動について打ち合わせが行われた。

さらに、小松久恵氏（大阪大学世界言語研究センター非常勤講師）により、「インドへのまなざし—文学作品に見る「地域大国」インドの輪郭—」と題する研究報告が行われた。これはインド人や外国人（特にイギリス人）による文学作品や自伝に描かれたインド像を明らかにしようとするもので、報告に対する質疑応答が活発に行われた。

第4班（帝国論）・第5班（社会）・第6班（文化）合同研究会

日時：3月3日（火）～4日（水）

プログラム：

3月3日（火）

場所：KKRホテル札幌 札幌市中央区北4条西5丁目（011-231-6711）

16：15 開会挨拶・連絡事項など：各班代表

16：30～18：30 第1セッション

小松久恵（第5班）「インドへのまなざし—文学作品に見る「地域大国」インドの輪郭—」

村田雄二郎（第6班）「ユーラシア地域国家としての中国—P. Perdue, China Marches West:

The Qing Conquest of Central Eurasia (2005)を素材にして」

19：15～20：45 第2セッション

「秋田茂著『イギリス帝国とアジア国際秩序』を読む」

評者：宇山智彦（第4班）、左近幸村（北大大学院博士課程）

3月4日（水）

場所：百年記念会館大会議室

9：30～11：30 第3セッション

井上貴子（第6班）「東洋学からオリエンタリズムへの射程—インドの音楽芸能研究を事例として—」

古谷大輔（第5班）「バルト海世界における大国像の陶冶～リンネ学派の世界叙述の事例から」

※第4班・第5班・第6班以外の班のメンバーの参加も歓迎される。

6. ロゴの決定

本ニュースレターのヘッダーにありますように、本新学術領域研究のロゴが決まりました。

発行者：田畑伸一郎（領域代表者）

事務局：青島陽子，小原由美子

電 話 011-706-4809

ファクス 011-706-4952

メー ル rp@slav.hokudai.ac.jp

住 所 〒060-0809 札幌市北区北9条西7丁目
北海道大学スラブ研究センター